

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2002年5月14日

この1週間の農作業可能日数は全州平均4.7日であった。南東地区では5~7インチの降水量を記録し、他地区に於いても降水は記録されたが土壌水分の改善を見るには至っていない。特に小麦主産地の州南西地区は極めて乾燥した状況である。5月始めに行われた Kansas Wheat Quality Council 主催の Crop Survey では平均予想単位収量は35.5ブッシェル/エーカーであったが、5月13日付けの Associate Press は、保険会社のサーベーターを基礎に単位収量は30ブッシェル未満と報じている。同記事は2001年産冬小麦の生育シーズンより続いている降水量不足は深刻であり、この先正常な降水が西部地区に有ったとしても小麦の回復はそれ程期待出来ないと報じている。現状では全州の小麦圃場の71%が平年以下 (Very poor:19%、Poor:25%、Fair 23%) となっている。節間成長期の圃場は95%であり平年の98%を下回るが、出穂している圃場は58%と平年の49%を上回る。このことは十分な栄養成長が完了する前に、乾燥状況より生殖成長が早まっていると言え、生理的に不自然な生育をしている小麦の存在を意味する。

2002年5月12日現在：

土壌水分状況：

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	49	35	68	35	0	29	0	0	0	23	22	1
Short (%)	42	48	32	26	39	17	5	6	0	23	25	13
Adequate (%)	9	17	0	38	61	53	66	70	47	42	52	82
Surplus (%)	0	0	0	1	0	1	29	24	53	12	1	4

Subsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	46	45	72	45	12	18	0	8	2	27	27	2
Short (%)	47	38	28	37	38	63	9	32	9	33	41	21
Adequate (%)	71	17	0	18	49	19	90	60	75	38	32	76
Surplus (%)	0	0	0	0	1	0	1	0	14	2	0	1

(Week とは Last week を意味し、Year とは Last year を意味する)

カンサス：小麦作柄と気象状況
2002年5月14日（続）

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	19	25	31	23	2
Last week (%)	18	22	32	25	3

小麦生育状況：

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year	5-yr
Joint	87	79	98	95	98	93	98	99	100	93	83	95	98
Headed	19	22	58	50	76	86	26	56	96	58	28	48	49

(WeekとはLast week、YearとはLast yearを、5-yr.とは5年平均を意味する。)

Source: Kansas Agricultural Statistics Service